Feel-G New standard house　Feel-J Free idea style house　Feel-A Scandinavian design house

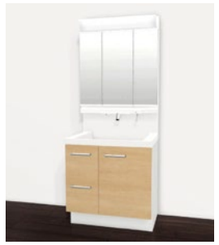
RENEWAL 2019

お求めやすい価格はそのままに、基本価格内の標準設備機器がグレードアップ

「㎡単価×床面積」による基本価格に必要なオプションを追加する、明確な価格設定で多くのお客様にご好評いただいているFeelブランド商品。
今回のリニューアルでは、㎡単価は変わらずに基本価格に含まれる設備機器がグレードアップしました。

◆キッチン：アレスタ／洗面化粧台：エルシィー（LIXIL）

※画像はイメージです。一部オプションが含まれます。



カレンダーができました。

Feelログハウスやフィンランドの写真を掲載した2019年版Feelオリジナルカレンダーができました。
程よいサイズで書き込みもしやすいと毎年ご好評をいただいています。
カレンダーをご希望の方は「カレンダー希望」と明記の上、info@kinoie.co.jpまでお問い合わせください。

まずは一度、展示場でログハウスを体感してください。

お近くの全国フィール加盟店にてご覧いただけます。
詳しくはお電話またはWEBよりお問い合わせください。

ログハウスのことなら、お任せください。

0120-15-6983（いこーログやさん）

資料請求・メールでのお問い合わせはこちらから。

www.kinoie.co.jp

vol. 35　2018 autumn

a periodical Tuuli

ログハウスファンとフィールブランドでつくるコミュニケーション情報誌

Owners Life
心で感じる北欧の空間
ゆったりとした北欧時間が流れるログハウスカフェ

from Finland
フィンランドからの来訪者

Column
ログハウスに使われる
木のはなし

心で感じる北欧の空間

ゆったりとした北欧時間が流れるログハウスカフェ

East Café オーナー　H様夫妻（埼玉県東松山市）

埼玉県東松山市の住宅が建ち並ぶ一角に、赤い小さなログハウスが一棟。
今回のオーナーズライフは、こちらのログハウスでカフェを営むH様ご夫妻をご紹介します。

2年ほど前にこちらのカフェ「EastCafé」をオープンされたH様ご夫妻。
「カフェのコンセプトは、珈琲と焼き菓子の“ペアリング”。地元の素材を使った季節の焼き菓子と、それに合わせて厳選したシングルオリジン珈琲をお勧めしています。シングルオリジンというのは、ブレンドコーヒーと違って、一つの産地の同じ品種の豆のみを使って淹れたコーヒーなんです。」

そんなこだわりのカフェをはじめるきっかけは、娘さんをはじめ家族の助言や協力でした。
「息子のお嫁さんがコーヒー店で働いていたので、コーヒーにすごく詳しくて。家でもいろいろな種類の豆のテイスティングをしたり、家族でコーヒーを楽しんでいました。」
「それから娘が都内のレンタルスペースでカフェをやっていたんですが、出産のためにお休みすることになって。そこで出していた焼き菓子のレシピでカフェをやりたい、というのがはじまりです。」

そこでご夫妻はご自宅近くに土地を購入し、カフェができる建物の情報収集をはじめました。およそ30年前に本場イギリスを訪れて以来ガーデニングが趣味というご主人は、イギリス風の庭を作りたいという思いがあったそう。
「建物もイギリス風の庭に合う洋風な建物がいいと思い、ログハウスやカナダの輸入住宅のメーカーを中心に見て回りました。」
「最終的にFeelさんに決めたのは、価格と細かな希望も叶えてくれそうというのが決め手になりました。」
実際のプランニングでは、住宅と違い保健所の基準をクリアするための工夫が必要で、少し大変な部分もありました。例えば

厨房部分は埃が溜まらないようにするため、ログの部分をアクリル板で覆うなど、木の質感を損なわない方法を二人三脚で考えていきました。
「土足でも OK なように柔らかいパインではなくオークのフローリング、厨房やお手洗いは水に強いクッションフロアの床にするなど、細かな仕様もカフェに適したものを提案して頂きました。」

そうして完成したログハウスは、ご主人が塗料メーカーの写真からイメージして決めたという、北欧の伝統的な赤色の外壁に、塀やドアの水色がアクセントになったかわいらしい平屋。
道路から建物横のアプローチを奥へ進むと、ご主人が丹精込めて手入れをしているお庭が広がります。
薔薇やハーブなどの草花に囲まれ、ログハウスで余った木材を使って DIY した納屋やテラス席のあるコテージガーデンは、道路に面していないため人目を気にせずゆっくりと過ごせる素敵な空間です。
「完成してしばらくしてから、ふらっと大工さんがお見えになったのですが、裏側の変型の敷地をどう使うのか不思議に思っていたらしくて。イギリス風の庭になっていることに驚いていましたね。」

山小屋風にならないよう、あえて梁を隠すように天井を貼ったという室内は、ナチュラルな雰囲気でムーミンの額絵やスウェーデンの陶芸作家リサ・ラーソンの小物がかわいらしく飾られています。
「雨の日でも建物に入るとスーッといい気持ちになるのって、やっぱり木の効果ですよね。湿度が調節されているのか、お庭で摘んだ植物も吊るしておくだけで綺麗なドライフラワーになります。」

East Café を訪れるお客様はご近所さんだけでなく、通りすがりに建物が気になって、と来店してくれる方もいるそうで、ログハウスは集客にも一役買っているようですね。
「カフェというと女性のイメージですが、

中学生の男の子や、男性客も意外と多いんですよ。常連さんが EastCafé に彼女を連れて来てくれたりすると嬉しいですよね。」
「いろいろな方と交流ができるのもカフェの魅力。これからも誰でもほっとできるようなお店を目指していきます。とりあえずもうちょっと目立つ看板を DIY で作ろうかな、と思っています。」

お庭を眺めながら美味しい焼き菓子とコーヒーが味わえるログハウス。お近くにお越しの際はぜひ立ち寄ってみてください！

East Café
埼玉県東松山市東平 1052-7
OPEN 土・日 11:00～17:00
https://east-cafe.amebaownd.com/
https://www.facebook.com/EastCafeSince2016/
eastcafe2016

From Finland

フィンランドからの来訪者

～インターンシップ生のご紹介～

今年の7月からフィンランドの大学生をインターンシップという形でお迎えしています。真面目で少しシャイな彼と彼が感じた日本について、ご紹介します。

フィンランドから見た日本

こんにちは。私は 7 月から半年間、インターンシップとしてフェニックスホームに在籍しているマルクスです。私はフィンランドからの留学生で、関西の大学で 1 年間勉強していました。

私が初めて日本に興味をもったのは 3 年ほど前、日本のアニメを見て、面白い国だと思ったのがきっかけです。ちょうど高校を卒業して時間があった時でしたので、一人で日本へ旅行に行きました。
日本を訪れた私はとても驚きました。フィンランドでは日本の文化としてロボットやアニメ、テレビゲームがよく知られていますが、それは日本文化のほんの一部でしかないことを実感しました。
なんといっても日本の食事の美味しさは、間違いなく世界一だと思います。
ラーメン、神戸牛、しゃぶしゃぶ、寿司、焼きそば…フィンランドに戻った時に、日本の食事がどれほど恋しくなるか怖いくらいです。
また一方で、母国のライ麦パンや、電気オーブン・薪ストーブを懐かしく感じている自分もいます。

日本を選んだ理由の一つに、フィンランドは「ヨーロッパの日本」と言われるほど、日本人とフィンランド人は似ているところがあるからです。
勤勉で時間を守る信頼できる国民性と、品質やシンプルさを尊重し、技術を進歩させている点などが似ているように感じます。
また、日本に温泉があるようにフィンランドにはサウナがあります。
多くの類似点がある中で、もちろん大きな違いも感じました。

両国の自然・気候は大きく異なります。一般的に、北極圏に位置するフィンランドは極寒と思われるかもしれませんが、私の考えではフィンランドの冬は日本よりも暖かいです。
フィンランドの冬は－ 30℃になることもありますが、室内は暖かく快適です。冬が長く厳しいので、寒さへの備えは万全に整えられているのです。それに比べ、日本では暖房システムが高価でフィンランドのように整備されていないと感じました。
ちなみに、フィンランドの多くの家庭にはエアコンがありません。夏には暑くなる日もありますがごく稀で、ほとんど必要に感じることは無いのです。

自然災害への意識も、大きな違いがあると思います。地震や台風などが多い日本では、災害への備えが当たり前に行われていますよね。ホームステイしていた日本の家で非常用食糧を見つけた時、私はとても驚き、本当に危険が身近にあることを認識しました。そして、実際に大阪で初めて、地震と台風を経験したのです。
地震が起きた時は何が起こっているのかわからず、余震のニュースもあり、私はとても怖かったです。
しかし日本の人達は地震による不便を当たり前の事として受け入れ、電車が止っている最中でさえ仕事へ向かおうとしていました。
その姿を見た私は、日本人がフィンランド人と同じように「シス」を持っている事を実感しました。「シス（sisu）」とはフィンランド語で、日本の”武士道精神”に近い言葉です。

私は、そのような大変な状況で日本人がどのように備え、助け合うかを学んだので、もう自然の脅威を必要以上には恐れていません。
現在私は日本で安全に暮らし、周囲の人々も私を受け入れてくれていると感じています。
それはとてもうれしく、今では日本を第 2 の故郷だと思っています。

木のはなし

ログハウスに使われる

北欧パイン

北欧スプルース

杉

檜

レッドシダー

木をふんだんに使用するログハウス。その量は一般の木造住宅の3倍以上。一言に木と言っても様々な種類があり、使う樹種によって印象や特徴も色々です。
ログ材に適している樹種や、今後現れる新しい製品について、考えてみましょう。

まず、主流となっているフィンランドログハウス。北欧産（主にフィンランド）のパインやスプルースというものが使われています。北欧は、極寒で年間を通して余り陽が当たらない為、木目の詰まった耐久性の高い材が多く、木肌が白いのが特徴です。パインは日焼けをし、白木の美しい材から年を経る毎に、飴色に変化します。スプルースは逆に日焼けしづらく、長く白木の美しさが保たれる北欧の印象にピッタリの材です。水が浸み込みにくく、水密性の高さもメリットです。最近ではエストニアや中国で加工される安価な材も登場していますが、品質に違いがあります。
国産材では杉・桧が主となります。杉は成長が早く、加工も容易で比較的安価で流通しています。芯の方は赤みがあり、日本家屋などで良く使用されている日本人には馴染みの深い樹種ですね。桧は昔から高級材とされ、北欧のパインに近い木肌をしています。こちらも水に強く耐久性がある為、人気があります。現在日本では、林野庁を始めとした国産材普及の方針が法律で制定され、木材業界には追い風となっています。
また、ハンドカットログと呼ばれるカナダ発祥のログハウスには、ダグラスファーやウェスタンレッドシダーという材が使用されます。北米産の樹種は赤身が強いのが特徴で、丸太のまま使用するケースが多いです。ダグラスファーは皮が厚く、脂（ヤニ）が多い為、加工に手間がかかりますが、非常に強度が高い材です。それに比べ、ウェスタンレッドシダーは加工がしやすく、雨にも強いので人気が高いのですが、高級材として認知されています。
この他にも北米のパインやカラマツなど、多種多様な材がありますので、気になった方は調べてみると楽しいと思います。好みや性格に合わせて樹種を選定しましょう。

最後に、近年世界的に注目を集めているCLTという材について、簡単にお話ししたいと思います。
CLT（クロスラミネートティンバー）と呼ばれる製材なのですが、木の繊維方向を互い違いに接着して作られています。
オーストリアで1995年頃に発展し、世界的に使用されている製材です。
大変強度が高く、これを使用した7～10階建ての木造建築が国外ですでに建てられています。今後、30階を超えるプロジェクトが各国で行われ、木材業界でも一番注目を集めているとご説明すれば、すごい材料だなといった事は伝わりますでしょうか。
日本も遅れながらではありますが、国産CLTの開発を急ピッチで進めていて、長崎ハウステンボスの「変なホテル」で使用されたのは有名です。

今、再び注目を集めている木造建築。ログハウスの未来も明るいと感じています。
ログハウスにお住まいの方は、未来を見据えた最先端の方々ですね。

完成物件・建設中物件のご紹介

完成物件
- U様邸　新潟県十日町市
- K様邸　埼玉県所沢市

建設中物件
- U様邸　東京都新島村
- Y様邸　千葉県山武市
- T様邸　埼玉県久喜市
- I様邸　神奈川県横浜市
- W様邸　東京都大島町
- E様邸　埼玉県新座市
- K様邸　栃木県那須郡
- T様邸　神奈川県厚木市
- S様邸　埼玉県比企郡
- T様邸　東京都板橋区
- Feel横浜展示場　神奈川県横浜市

新潟県十日町市　U様邸　Feel-G
切妻屋根の王道ログハウス。シンプルながら木目の美しさが引き立つナチュラルカラーで、ログハウスの魅力を改めて感じさせる一棟です。

埼玉県所沢市　K様邸　Feel-G
インナーガレージ付きのL字型ログハウス。室内からでも車を眺められるようプランニングしています。三連の窓など、外観デザインもとてもこだわったプランです。

東京都新島村　U様邸　Feel-A
マリンブルーの美しい海に囲まれた新島で建築中の一棟。グランピングルーフを備えたFee-Aの特徴的な形状が分かるようになりました。

埼玉県新座市　E様邸　Feel-A
住宅街の一角で施工を行っているFeel-A。薪ストーブを設置した広い土間玄関と、リビング・ダイニングがオープンでつながるログハウスで人気の間取りを採用しました。

Webサイトで物件の詳しい写真をご覧いただけます。www.kinoie.co.jp/

NEWS

入間展示場がリニューアル

Feel入間複合展示場のモデルルームがリニューアルしました。新たに広々とした商談スペースが増え、ゆっくりご見学、ご商談をしていただけるようになりました。最新のスマート照明や新しいインテリア家具も導入。皆様のご来場をお待ちしております。